

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和 5年 3月 17日

有効回答数 29 件

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準に基づき設定している	はい 96.55%	どちらとも いえない 3.45%	いいえ 0.00%	わからない 0.00%
	2 職員の適切な配置	基準に基づき設定している	はい 93.10%	どちらとも いえない 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 6.90%
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	構造化された環境の基、特性に応じて視覚支援を実施	はい 96.55%	どちらとも いえない 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 3.45%
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃と物品消毒をしている利用児童が使用する道具も整理して配置	はい 100.00%	どちらとも いえない 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 0.00%
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝礼での申し送りと終礼での報告をしている定期的にご利用児童及び保護者様からの意見についてケース検討を行っている	/			
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では行っていない	/			
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年に1回以上の専門分野への研修参加とそれについての伝達研修を実施	/			
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用児には適宜スケールを実施(ことばの評価、心の理論など)、また日々の行動観察でスタッフ間で情報の共有を行っている。保護者様へのモニタリングを実施し作成している	はい 96.55%	どちらとも いえない 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 3.45%
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別課題と集団の中での課題を設定し、計画に盛り込んでいる	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				
適切な支援の提供 （続き）	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	集団療育の中での具体的な支援の内容を記載している	はい 96.55%	どちらとも いえなし 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 3.45%
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画の内容について共通認識をもち、日々の支援にあたっている	はい 96.55%	どちらとも いえなし 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 3.45%
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	工作・ルール遊び・運動・SSTなど活動に対して担当を割り振り、月に1度、翌月の月案を話し合っている	/			
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇中などは普段の集団療育では難しい個別のニーズに対応できるよう個別療育の実施またライフスキルの練習も兼ね、外出プログラムやレクリエーションプログラムを実施している	/			
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月案・週案を作成し、日々のスケジュール作成をしている	はい 100.00%	どちらとも いえなし 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 0.00%
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	申し送りと活動打ち合わせを毎日行って確認している	/			
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日、活動後は振り返りを行い、情報の共有を行っている	/			
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の記録はその日のうちに記録できるようにしている。支援内容とズレが生じた際は、翌日の打ち合わせなどを利用して支援内容の再検討をスタッフ全員で行っている	/			
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者様と必要に応じて行う個別面談や、年に2回アセスメント票の記入をもらい、支援内容について見直しをしている	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	必要に応じて参加している。会議の実施が難しい場合は担当者間で電話連絡を取り合い、利用児の状況把握に努めている	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者様、他施設からの要望に応じて訪問しての情報交換など連携を図っている	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて行っている	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	利用児童全員が、地域の保育園、幼稚園、小学校(学童を利用している子もいる)に在籍しており、発達特性に課題のない子たちと関わる時間が日々の生活で十分とれていると考えているため、事業所のプログラムとしては積極的には行っていない。また今のところ、保護者からのニーズがない	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">はい 31.03%</div> <div style="text-align: center;">どちらとも いえない 10.34%</div> <div style="text-align: center;">いいえ 20.69%</div> <div style="text-align: center;">わからない 37.93%</div> </div>
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は新型コロナウイルス感染防止の観点から行っていない	
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明している	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">はい 100.00%</div> <div style="text-align: center;">どちらとも いえない 0.00%</div> <div style="text-align: center;">いいえ 0.00%</div> <div style="text-align: center;">わからない 0.00%</div> </div>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	はい 100.00%	どちらとも いえない 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 0.00%
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	はい 72.41%	どちらとも いえない 10.34%	いいえ 10.34%	わからない 6.90%
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	はい 100.00%	どちらとも いえない 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 0.00%
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	はい 96.55%	どちらとも いえない 3.45%	いいえ 0.00%	わからない 0.00%
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	はい 55.17%	どちらとも いえない 10.34%	いいえ 10.34%	わからない 24.14%
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	はい 86.21%	どちらとも いえない 0.00%	いいえ 3.45%	わからない 10.34%
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	はい 100.00%	どちらとも いえない 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 0.00%
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	はい 72.41%	どちらとも いえない 3.45%	いいえ 0.00%	わからない 24.14%
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	はい 96.55%	どちらとも いえない 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 3.45%

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各研修への参加と、事業所内でのマニュアルを設定し共通認識をもって業務にあたっている保護者様には都度、説明させていただいている	はい 93.10%	どちらとも いえ 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 6.90%
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	火災想定、地震想定の内容で避難訓練を実施している	はい 89.66%	どちらとも いえ 0.00%	いいえ 0.00%	わからない 10.34%
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	キャリアに応じた研修への参加を行っている	/			
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当なし				
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用契約時にアレルギー表に記入していただき、適切に対応している				
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日の終礼でヒヤリハットの確認を行っている。発生した場合は状況把握、今後に活かせるような対応の検討を行う。またその内容を記録し、保管している。				

別添様式2

事業所名： こども未来ステーション神戸

保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
限られたスペースを工夫して使っていく。不必要な物は片づけるなど、物品収納も工夫していく
活動後の退所時に慌ただしい時間帯が発生している。利用児童が安全に過ごせるよう、適宜内容と体制を見直していく
障害特性に応じた視覚化、構造化を行っていく
継続して清掃、消毒等の徹底を行っていく
今後も継続していく
今のところ予定はしていない
次年度も継続して専門分野への研修参加を積極的に行っていく
アセスメントの取り方やモニタリングの内容など、適宜見直して実施していく
相談支援やモニタリングで聞き取ったニーズをもとに今後も活動の幅を拡げ利用工夫していく

**保護者の評価を踏まえた改善目標・内容**

今後も個々の特性に合わせた計画作成を心がけて実践していく

今後も個々の特性に合わせた計画作成を心がけて実践していく

今後も定期的なケース会議等の開催や日々の活動をふり返る時間を設けていく

社会情勢を鑑みながら適切に実施していく

今後も月案・週案を作成し、日々のスケジュール作成をしていく

申し送りと活動打ち合わせを毎日今後も継続して行っていく

今後も継続して毎回、活動後の振り返りを行い、情報の共有を行っていく

今後も継続してスタッフ間での意思統一を図っていく

今後も継続して行っていく

保護者の評価を踏まえた改善目標・内容

今後も継続して行っていく

ニーズに応じて今後も継続して行っていく

今後も継続して行っていく

現状では積極的には行っていないが、  
今後はニーズに合わせて機会を設定できるように検討していく。

社会情勢を鑑みながら適切に実施してい

今後も丁寧な説明を心がけていく



保護者の評価を踏まえた改善目標・内容

今後も丁寧な説明を心がけていく

ペアトレや保護者支援の研修へ参加する。保護者様のニーズに合わせて機会を設定していく

継続して活動後のフィードバックを行っていく。事業所内相談支援の充実(頻度、テーマ)

事業所内相談支援の充実(頻度、テーマ)保護者支援内容の研修に参加する

状況を見ながら保護者交流会も企画していきたい

継続して迅速に対応をさせていただく

継続して特性に応じた対応をさせていただく

予定については継続してメールを使用していく。イベントなどについてはホームページやSNSなども活用するなど保護者様に見てもらいやすい形を検討する

今後も継続して十分に対応できるようスタッフ間で意思統一

**保護者の評価を踏まえた改善目標・内容**

事業所でのマニュアルを保護者様も確認できるようにする。また、研修等への継続的な参加と、事業所内でも情報共有、シュミレーションができる機会を設定していく。

海沿いの立地になるので津波に対する訓練も実施していきたい

年に1回以上の研修の実施を行っていく

現状該当ケースはなく、今後状況に応じて対応していく

食事提供が無いことと、コロナ禍でクッキング等の活動を自粛しているが、状況に応じて適切に対応していく

今後も継続して行っていく